

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道256号 高富バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：岐阜県								
起終点 自：岐阜県山県市佐賀 至：岐阜県山県市伊佐美		延長：4.6 km									
事業概要：一般国道256号は、岐阜市を起点とし、長野県下伊那郡上村に至る延長226kmで、緊急輸送道路にも指定されている重要な路線である。本事業は東海環状自動車道高富ICへのアクセスおよび山県市街地の交通混雑の緩和、地域開発による交通量の増加を目的とした延長4.6kmの4車線道路である。											
H8年度事業化	S58年度都市計画決定 (H12年変更)	H8年度用地着手	H10年度工事着手								
全体事業費	130億円	事業進捗率	52%								
計画交通量	12,200台/日										
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 43/120億円	総便益 (残事業/事業全体) 392/467億円								
	(残事業)	事業費：41/117億円 維持管理費：2/3億円	走行時間短縮便益：378/455億円 走行費用減少便益：11/8億円 交通事故減少便益：4/4億円								
感度分析の結果	交通量変動：B/C=9.8 (交通量+10%) B/C=8.1 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=8.1 (事業費+10%) B/C=10.0 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=8.3 (期間+2年) B/C=9.5 (期間-2年) 割引率変動：B/C=11.2 (割引率+1%) B/C=7.4 (割引率-1%)										
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保(現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する。 ・安全で安心できる暮らしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる) 他6項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見	・一般国道256号は、地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、山県市東海環状自動車道建設促進期成同盟会より早期整備の要望(平成17年8月4日)を受けている										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	下水道処理場の建設および商業施設の新規立地計画により、当バイパス計画の必要性、重要性は高くなっている。										
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに1.6km部分供用している。高富ICまでの残り3.0kmについてバイパスの整備を進めている。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	東海環状自動車道高富ICの進捗状況にあわせて、全線の供用を目指す。										
施設の構造や工法の変更等	開発事業との調整により構造物(擁壁)の廃止および土砂の工事間流用によりコスト縮減を図っている。										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。										
事業概要図	<p style="text-align: center;">高富バイパス L=4.6 km</p> <p style="text-align: center;">(4/4) 供用済 L=1.6 km</p> <p style="text-align: right;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>〰〰〰〰</td><td>供用中</td></tr> <tr><td>〰〰〰〰</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>〰〰〰〰</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>〰〰〰〰</td><td>未評価箇所</td></tr> </table> </p>			〰〰〰〰	供用中	〰〰〰〰	事業中	〰〰〰〰	再評価箇所	〰〰〰〰	未評価箇所
〰〰〰〰	供用中										
〰〰〰〰	事業中										
〰〰〰〰	再評価箇所										
〰〰〰〰	未評価箇所										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。